



「和の心で」 ～ 裏千家鵬雲斎大宗匠 千玄室 氏 ご講演 ～

令和4年3月14日(月)千玄室氏の講演会が開催されました。



千玄室大宗匠は、裏千家の十五代家元。平成十四年、嫡男に家元を譲座された後、「一盃からピースフルネスを」の理念を提唱され、国際的な視野で茶道文化の浸透と世界平和を願って、各国での講演活動を精力的に行っている。日本倶楽部では、初めてのご講演。茶道同好会によるお呈茶(客人にお茶を差し上げる)の後、「和の心で」ということとお話しいただいた。

私は九九歳になりますが、元気です。なぜなら毎日お茶をいただいているからです。私の父、十四代の淡々斎はお酒を愛した人で、随分と豪快に飲んでいたのですが、私は飲めない。母親のお腹の中にいた時からお茶ばかりいただいていた。それで私の血は緑色なのではなどと言ったりしますが、お茶をいただくことは長生きの秘訣です。中国の唐の時代の陸羽という人が書いた茶経という書物に、茶は仙薬であると書いてあります。お茶にはカテキンという物質が含まれていて、人間の体の中の毒素を流し出してしまうのです。中国の文人墨客は、お茶を飲みながら、詩を詠んだり絵を描いたりしていました。そんな文化が、室町時代に日本に入ってきて出来上がったのが「茶道」です。お茶そのものは古事記のころから日本に入ってきていましたが、道として成立したのです。それを大成したのが千利休です。心をこめて、相手にお茶を差し上げる。それによって人間同士のきづなが深まる。人間性が育成されるのです。「和をもって貴しとなす」にもつながります。

私は、昭和18年に徴兵検査を受けて、海軍の航空隊に選抜され入隊しました。ものすごい訓練をやりました。夜間訓練など大変なものです。そして、昭和20年の4月に特別攻撃隊として鹿児島県鹿屋の航空基地に配属されました。私は無念にも待機命令を受けましたがみんな、爆弾を積んで出撃していきました。白菊という偵察機に乗って出撃して行くのです。偵察機は速度は120ノットですから、沖縄まで4時間ほどかかります。途中にはグラマンが待っている、艦砲射撃も大変なものです。電信機からの、クタクタクタ・・・という音が聞こえなくなったら戦没です。そんな仲間のために、陣中点とお茶を点てました。戦友たちは、「うまいなあ」と言ってくれました。そして出撃していきました。

今日の日本は、平和ボケです。文武両道でなければ、世の中は治まりません。明治時代でいえば、西郷、大久保、木戸といった人たちがいて明治維新になりました。千利休の時代には、信長、秀吉、家康がいて安定した江戸時代がもたらされました。千利休が仕官したのは信長です。信長は、天下統一の裏付けとなるのは、兵力ばかりではなく茶の湯に親しむ教養だと考えていました。天下の名物(お茶道具)を集めて、部下への褒美にしました。茶の湯御政道と言います。その信長に仕えていた千利休に入門したのが秀吉でした。お茶は文化そのものになっていきました。例えば、茶の間、間取りと言い、要は間の取り方を教えます。お茶室に入るときは、みんな平等です。武士も刀を預けて丸腰で入ります。利休が説いたお茶の心得に、四規七則三戒というのがあります。四規とは和敬清寂です。和は、仲良くということです。敬は、お互いに Respect する、尊重するということです。清は、清めるということです。寂は、動じないということです。そこから、人に対する誠実というものが出てきます。それは、善人になろうという良心です。Conscience です。日本倶楽部という立派な倶楽部におられる皆様には、そういった心をもって、この国をよくして行っていただきたいと思います。戦争で亡くなっていった多くの若人のためにも、この国をよくして行っていただきたいと念じております。(T.M.)



講演会前に茶の湯同好会による「お茶の振る舞い」が開催されました。

右側の写真、左から、千玄室講師、田中和子君(日本倶楽部家族会員・茶の湯同好会講師)、松元崇君(茶の湯同好会幹事)、井嶋一友会長。

～コロナ感染症対策に関する対応について～

3月21日(月)まで発出されていた政府の「まん延防止等重点措置」は、解除されました。日本倶楽部の対応につきまして、感染者は高止まりしておりますが、コロナ感染予防を徹底し、「少しずつ通常に戻す」こととし、下記のとおりとさせていただきます。

- ・ 定例午餐会を12時20分より開催(食事付。事前申し込み。但し、人数制限40人めど)
- ・ 講演会は、従来通りディスタンスを確保し開催
- ・ 評議員会は、12時より開催(食事付。事前申し込み。)
- ・ その他、委員会、倶楽部活動等は、活動ごとにそれぞれ検討

なお、閉館時間は従来通り18時30分を継続とし、コロナ感染予防につきましては、引き続き、より一層の感染予防対策(マスク着用、アルコール消毒、検温等)を十分行って頂きます様お願いいたします。ご自愛の程お願い申し上げます。

当倶楽部といたしましては、事態が大きく変動した場合は、弾力的に対応することとし、当面この対応を継続してまいりたいと存じます。